

北九州市民の会ニュース

建築都市局都市計画課が出前講演

7月1日(土)、平和とくらしを守る北九州市民の会主催で、北九州市建築都市局都市計画課による「北九州市立地適正化計画の見直し案」の出前講演が行われました。11名が参加。

この計画見直しの背景は、

- ① 平成28年に策定された「北九州市立地適正化計画」が5年経過したことから、施策の実施状況の分析・評価をし、取り組みの見直しを行う。
- ② 国において、近年の頻発・激甚化する自然災害に対応するため、令和2年6月に都市再生特別措置法が改正され、立地適正化計画に「防災指針」を記載することとしている。

また、都市計画審議会への諮問を行い、改訂素案を作成しました。その主な内容は、①「居住誘導区域」「都市機能誘導区域」等における事業の見直し、②目標値の変更、③「居住誘導区域」「都市機能誘導区域」の区域の変更、④「防災指針」の策定となっています。

出前講演に関して参加者から、次のような質問や意見が出されました。

- ① 都市計画審議会で何が問題になったのかわかりやすい説明をしてほしい
- ② 高潮被害想定区域への門司港複合施設の建設はおかしい
- ③ 国の移転補償の制度を市は活用しないのか
- ④ 上藤松2丁目の防災対策がどうされるのか

これまで北九州市の立地適正化計画では、適正な土地利用をすすめるとして「区域区分の見直し」を、2018年12月から都市計画審議会の専門委員会着手し(4回開催)、2019年11月に区域区分の見直し基本方針を策定しました。同年12月より、八幡東区の住民説明を皮切りに、市内7区で280回6000名を超える参加者でした。関係者の多くから反対意見が出される中、ほぼ白紙に近い大幅な計画修正がされました。

今回の見直しでは、区域区分の取り組みについての分析・評価がまったく出されていません。また関係住民のかけ地等の防災対策への要望・意見が活かされていません。それぞれの地域から「防止対策」を行うよう意見や要望をドシドシ出しましょう、7月18日から1ヶ月間の日程で市民意見(パブリックコメント)募集が行われます。



学校給食無償化めざす市民有志が学習会開催

北九州市の学校給食の現状を学びあい、無償化や質の向上をめざそうと市民有志でつくる「学校給食を考える準備会」は、7月8日(土)、黒崎コムシティで学習会を開き意見交流をしました。100人を超える市民が参加。会の正式名称を「学校給食の無償化をめざす会」とすることを確認しました。元給食調理員の前田由美子さん、日本共産党市議会議員の永井佑さん、北九州子どもと教育のために手をつなぐ会事務局長の三浦日佐代さんの3人が、現場の実態や同市の学校給食の現状などを報告しました。意見交流では、子育て世代や元教員などから発言が相次ぎました。9カ月の子を持つ女性は、保育料の負担などにも言及し、「給食費無償化は大きい」とのべ、「多くの子育て世代に運動に参加してほしい」と語りました。



「学校給食の無償化をめざす会」の第1回事務局会議は、下記要領で開かれます。

7月20日(木) 18:00 戸畑生涯学習センター



八幡西区革新懇 第 11 回総会の報告

世話人 池村 好順

23 年 7 月 8 日 (土) 午後 2 時、八幡西区黒崎コムシティで八幡西区革新懇第 11 回総会を開催することができました。梅雨の曇天のなかでしたが、23 名の方が参加。司会進行は前市議の原田さん。手際よい丁寧な進行でした。

(1) 総会の前半は、「記念講演」

◎真島省三さんに、「戦争の準備でなく平和の準備を＝日中関係の前向きの打開を」というテーマで、縦横に語っていただきました。講演は「通常国会のたたかいは何を示したのか」ということから始まりました。国会内の議席多数で次々と悪法を強行した「強権政治と悪政 4 党連合」を鋭く批判し、大切なのは国会が終わった後でも、市民運動、世論が盛り上がっていること、特にマイナンバーカード強行についての「抗議の怒り」が象徴的だと強調しました。たたかいは今大きく広がっている、これからの世論と運動で包囲することの大切さを語ってくれました。

次に「こんなアメリカ言いなりの国でいいのか—“戦争か平和か”を左右する焦眉の問題」として、「大軍拡の本質」、「核兵器問題」、「9 条改憲」をとりあげました。そして、「戦争の準備でなく、平和の準備を」と話をすすめ、日本共産党の「外交ビジョン」を詳しく紹介をしました。「日中両国関係の前向きの打開のために」という「提案」です。

♠ 「提案」—三つの「共通の土台」

① 08 年の「日中共同声明」、② 尖閣諸島の 14 年の日中合意、③ 「ASEAN インド太平洋構想」を取り上げ、この三つの日中両国の「共通の土台」を生かす外交努力こそが今もっとも求められていると説明。

☆米国は「台湾有事」を煽っているが、「日中両国関係の前向きの打開」こそは、喫緊の課題であり「その方向性」は間違いなくあると強調され講演を締めくくりました。その後、二人の方から質問がありました。真島さんの話は、聞いていて本当にそうだと思います。「共通の土台」があるのですから、これこそ岸田政権が本気ですすめるべき、そして進めることができ



る最も重要な課題だと思いました。

(2) 後半の八幡西区革新懇総会

♠ 来賓挨拶は、永井市議員です。パワーポイントを使い、「学校給食無償化」を取り上げ分かりやすく伝えてくれました。北九州市ではこれから署名運動が始まります。

◆ 総会—総会の挨拶は、安永世話人が行いました。紙数の関係で詳しく紹介はできませんが、とても有意義な内容でした。その後、「経過・活動報告」・「活動方針 (案)」・「財政報告」等をそれぞれの世話人が提案しました。そして最後に全員の拍手で、今年度の「総会議案」はすべて承認されました。総会参加者全員の総意のもと、最後に「総会アピール」を読み上げ採択されました。忙しい中、真島さん、総会参加者のみなさん、世話人の皆さん、ありがとうございました。

平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F

TEL 093-592-5000

fax 093-571-4346

http://siminnokai.sakura.ne.jp

e-mail:koe@siminnokai.com

